

岐阜県PTAで作る

わが子のあゆみ

個人購読募集

早く届いてゆっくり読める個人購読を!



親子で、読んで
会話がはずむ!



【ほめ写より】
私には子どもが6人いますが、皆が本当に仲が良く、私のほうが尊敬するくらい素晴らしい子どもたちです。
ステキだなと思っていても面と向かって言ってしまうと気持ち悪がられるので、そっと写真で表現して飾っておきました。

特集(予定)
夏号 ほめ写に取り組んでみませんか?
く子どもの自己肯定感を高める子育ての新しい慣く
秋冬号 「関市の取組 アクティブGメン♪75」
春号 災害に備える

「ほめ写に取り組んでみませんか?」
子どもが大きくなると、ついつい忘れがちな「ほめ言葉」。様々な場面で撮影された家族での思い出の写真やエピソードを使って、子どもの自己肯定感を高めましょう。

「関市の取組 アクティブGメン♪75」
関市で活躍中の高齢者ボランティア集団「アクティブGメン♪75」。幼稚園保育園、小学校、中学校、高校でのボランティア活動で積極的に子どもたちに関わっています。子どもや先生たちの役に立てることが高齢者の「生きがい」に繋がっています。

「災害に備える」
岐阜県で発生しやすい災害とは?また、災害に備えて、どんな準備をしておくが良い?令和6年1月1日に発生した能登半島地震での災害ボランティアの経験談もご紹介します。

子育て情報機関誌
令和8年度の特集内容(予定)

「わが子のあゆみ」で出会った《心に残る言葉》

- ◇「自分で言ったこと、自分で行ったことは、必ず自分に返ってきます。」この言葉は。新学期始まり、学校長が全校生徒に向けて話したものです。(教育の窓 夏号)
- ◇入学したばかりの1年生は、6年生からほうきのもち方や掃き方など、そうじのいろはを教えてください。(学校のたからもの 夏号)
- ◇自分が子どものころ、父の背中はとても大きく見えた。黙々と働き、疲れて帰ってきてても文句ひとつ言わず、家族のためにまた次の日も出かけていくその背中には、不思議な安心感と尊敬があった。(親の背中 秋冬号)
- ◇「親の背中」と言いますが、見せて恥ずかしい背中になっていないだろうかと自問し、子どもを育てているつもりで共に育ててもらっています。(リレーエッセイ 秋冬号)
- ◇けがや急病、着替えや服薬管理、心の準備等、保健室を利用したい理由を「養護ニーズ」といいます。その子の養護ニーズは何かをつかむところから保健室来室者対応は始まります。(保健室ノート 春号)
- ◇今年度は、思いもよらぬことから始まりました。まず、私の移動先が母校の〇〇小学校になったことです。もう一つ、私の1年生の時の恩師が校長として母校に赴任されたことです。(私の先生 春号)

◆1冊340円、年3冊発行(1,000円)。お申込みは各学校のPTA担当の先生。
◆お問い合わせは岐阜県PTA連合会事務局 ☎058(262)3257まで。